

# 情報連絡員報告総括表(平成29年11月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況						
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化				
製 造 業	食 料 品	1	3			2	2	1	3			4			3	1		3	1		4			3	1	1	2	1			
	織 維 工 業	2	1		1	2		1	1	1		2	1		2	1		2	1		3			3			2	1			
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1		1				1			
	紙 ・ 紙 加 工 品	1	1			2		1	1			2			2			2		1	1			2			2				
	印 刷		1			1			1			1			1			1			1			1			1				
	化 学 ・ ゴ ム																														
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1		2		3			3			3		1	2			3		1	1	1		3		1	2				
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1		1			1				1		1			1			1					
	一 般 機 器	3			1	2			3		3			1	2			3		1	2		1	2		1	2				
	電 気 機 器	1				1			1		1			1			1			1			1			1					
輸 送 機 器	1				1			1		1				1			1		1			1			1						
そ の 他																															
小 計	11	6	3	2	16	2	3	16	1		18	2	4	13	3	1	17	2	6	12	2	4	15	1	6	11	3				
非 製 造 業	卸 売 業	1		1		2			1	1		2		1		1		2		X				2			1	1			
	小 売 業	2	3	1	2	3	1	3	3		5	1		3	3		4	2					5	1		4	2				
	商 店 街		1			1				1		1			1			1						1			1			1	
	サ ー ビ ス 業	1	1	3	X			1	4		5		1	1	3		3	2					5			3	2				
	建 設 業	1	2	1					3	1	3	1		3	1		3	1					3	1		3	1		3	1	
	運 輸 業		1						1			1			1			1						1			1			1	
	そ の 他		1						1			1			1			1						1			1			1	
小 計	5	9	6	2				6	1	4	13	3	18	2	2	10	8		15	5		17	3		14	6					
合 計	16	15	9	4				22	3	7	29	4	36	4	6	23	11	1	32	7	6	12	2	4	32	4	6	25	9		

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年11月～平成29年11月)

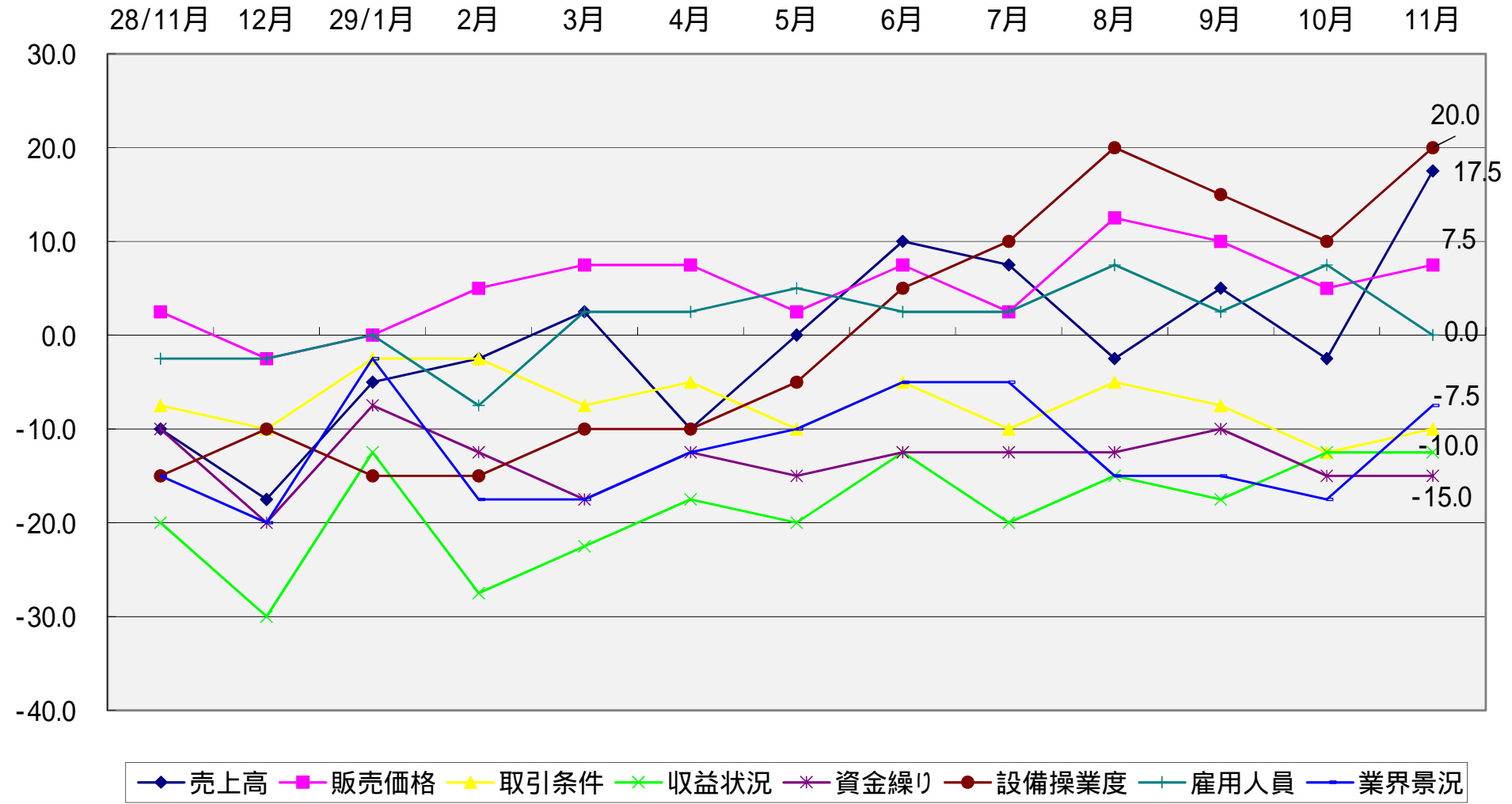
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	28/11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	増減
売上高	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5	5.0	-2.5	17.5	20.0
販売価格	2.5	-2.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	12.5	10.0	5.0	7.5	2.5
取引条件	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0	-7.5	-12.5	-10.0	2.5
収益状況	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	0.0
資金繰り	-10.0	-20.0	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	-12.5	-10.0	-15.0	-15.0	0.0
設備操業度	-15.0	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	20.0	10.0
雇用人員	-2.5	-2.5	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	7.5	2.5	7.5	0.0	-7.5
業界景況	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	-15.0	-15.0	-17.5	-7.5	10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年11月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	根菜類、特に大根・ひの菜は初期生育時期である10月の長雨と台風21号等の影響により、地温低下や葉の劣化が認められる。このため、全体的に根径(太さ)が確保できず、細物が主体となり、収穫量の減少や収穫時期も10日～2週間程度遅延している。今後の天候回復に期待を寄せている。
		醤油味噌	組合員一社がTVで放映され、反響が大きかった。12月6日、7日とイオン尾平店での特優会イベントに参加し、「三重・しょうゆ街道」を実施する。人手不足で人員の確保が難しく、製造に支障が出ている状況である。一部では、受注に製造が追いついていない。
		豆腐	原材料の大豆は、輸入、国産ともに昨年同時期と比べ若干安値である。
		製麺	12月2日、3日に香川県高松市(うどん県)の年明けうどん大会に参加した。毎年、伊勢うどんを食べていただいたお客様から「本当においしいね。」と言われ、とてもうれしく、今後、益々伊勢うどんが人気になっていくと思われる。11月18日、19日に埼玉県熊谷市にて山口製麺がうどんサミットに参加し、1,600人の方々に伊勢うどんを食べていただいた。
	繊維工業	テントシート	10月の台風被害の復旧工事が多く、売上高の増加につながった。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	秋から冬らしい季節を迎え、冬物商品、食品等を中心に荷動きが昨年よりやや上回った。段ボール原紙の上昇に伴う段ボールシートと段ボールケースの値上げが渦中である。
		古紙	11月期の仕入量は、前年比：段ボール・約97±6%位、新聞、チラシ・約88±7%位、雑誌、雑紙、その他合わせて・約94±6%位の中での推移である。集荷にバラつきがあり、集計上は前年より良い組合員もあるようである。中国向けの古紙輸出(段ボールと雑誌)は、限られたルートでできているようである。新聞・雑誌類は、夕刊の廃刊や発行部数の減少、また、様々な回収方法もあることなどが集荷減の原因とも考えられる。また、古紙の様々な回収方法があることが持去りの原因と考えられる。古紙の集荷にバラつきがあることは、危機を感じ、不安になる。
	印刷	印刷	年末に向けて、パッケージやチラシ関係の需要は伸びているが、その他一般の印刷物は、価格競争等厳しい業況が続いている。近年、年賀状印刷は、大手参入・SNSへの移行・家庭用プリンタの普及、使用など様々な理由から需要が見込めなくなった。三重県民手帳は、委託の書店等で在庫が見られる状況である。12月早々にNHK全国版で取り上げられることで販売促進に繋がることを期待している。
	窯業・土石製品	伊賀焼	伊賀焼伝統産業会館については、入館者数、売上とも昨年を下回っている。(3か月続けて)また、伊賀・信楽古陶館については、両方とも昨を上回っている。これは、10月の上野まつりに来る予定の観光客が台風で来れず、11月に来たことによると考えられる。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、10月とほぼ同様に好調さは堅持されている。国内の自動車の販売台数が増加しない中、自動車関連部品の鍍金は増産傾向にあり、海外向けが多いのではとの観測もある。工作機械関連も順調に伸びている。また、その他の製品に関しても若干の伸びがみられ、全体的に増加傾向であった。半導体関連部品は、10月と同様であり、切削加工の状況により、増加する月、減少する月がある。11月に関しては、加工の状況は変わらないが、まだまだ増産状態は続く見込みである。
	一般機器	四日市	全般的に仕事は順調に推移しているようである。各社各様の問題はああるものの、自助努力の中で解決している。
		伊勢	第三銀行と三重銀行が来年4月に持株会社を設立し、経営統合をする予定であり、組合員に直接的な影響は少ないと思われるものの、将来的に融資のシェア割調整等、取引金融機関とのバランス等を考慮し、対応をしていくことも考えられる。また、メガバンクは、店舗や人員の縮小化を発表しており、時代の変化に伴い、今後の方向性を打ち出していることから、各企業も真のニーズを相談して様々な提案等をしてもらえるように日頃から良好な関係を継続しておくことが重要であると考ええる。
	電気機器	鳥羽	受注量は、好調で売上高は増加している。下期後半に入りつつ、このままの推移で維持できる。
	輸送機器	鈴鹿	昨年のこの時期は、全体的に低調であったが、今年は軽自動車のモデルチェンジの影響もあり、非常に繁忙である。
非製造業	卸売業	肥料	最近、新規採用が難しくなっている。募集しても応募がない。総会を開催したが、組合員が減少している。組合員減少の要因として、組合員の高齢化や売上高の減少が大きい。
	小売業	青果	野菜：前半、台風21号、22号の影響を引きずり、野菜は高値である。特にホーレン草、小松菜は昨年に比べ、2倍以上の高値である。白菜も品薄、サツマイモ・里芋は豊作でお買い得である。後半、葉物中心に高い。特にレタスは平年の2倍以上の高値である。トマト・キュウリは気温の急落で入荷が少ない。果物：前半、県内産のみかん・柿は順調に入荷し、価格も安定している。リングもサンフジがお買い得である。後半、お歳暮シーズンに向けて、贈答用が揃い始めたが、長野産のサンふじも値上げ気味である。県内産・和歌山産みかんは、早生の品種が不作である。前年の7割程度値上がりしている。贈答シーズンに向け、更に高くなる可能性がある。
		自転車	10月末に開催した教育情報事業として、組合員研修会は例年とは一風変わった自転車の修理技術講習会と車椅子安全整備士養成講習と題したものであり、大変興味を示す組合員も多く、参加者が増えた。その結果、部品の取扱い資料の問い合わせ等が11月に入り、応対する機会が多くなった。又、上旬には、様々なイベントも行われ、スポーツ車、電動アシスト自転車の動きが多少見られ、昨年より10～15%程度の売上が増加したとの情報も届いている。

非製造業	小売業	電器	11月は、例年にない冷え込みとなり、暖房効果の高いエアコンなどへの期待が膨らんだ。全体的な動きとしては、節電・省エネ等環境に関する関心が高まる中で、LED証明器具販売のキャンペーンや省エネ家電の販売の強化を図った。また、商品の動きは良くない中で、好調な4Kの大型画面テレビへの買い替え需要の掘り起こしを進め、セミナーへの参加も積極的に進めた。年末に向かって、最需要期を迎え、4Kテレビに加えて、白物家電（冷蔵庫・洗濯機・エアコン）や年末大掃除需要への掃除機の提案などで、商戦を盛り上げ、拡売につなげていきたい。
		石油	11月度の県内の自動車燃料油販売数量の状況は、各特約店情報によると、前年対比6%前後の厳しい減販状況であった。さらに、今後原油価格については、先高感が強く、値上げが継続する可能性が高い。来月は、師走商戦を迎え、景気も回復基調により、新車・中古車販売も好調となり、冬用タイヤ、バッテリー等の油外商品の販売にも期待したい。
		スポーツ	冬の到来により、屋外競技の選手達は、ウィンドブレーカーが必要となってきた。人の心理として、寒くならなければ、ウィンドブレーカーを中々購入してくれないが、ここに来て、かなり需要が増加してきた。野球、陸上、サッカー等の競技のウィンドブレーカーが売れている。特にチームで揃えて注文があるため、マークを入れたり、刺繍を入れたりそれぞれの組合員も忙しくなっている。
	商店街	熊野	今月の朝市イベントは、夏以来4か月ぶりの開催となった。期間が空いたためか出店数も従来より少なく、各店舗の売上も普段より少ないようである。今後は、イベント等の併催など集客に繋がる工夫が必要かと思う。
	サービス業	旅館	昨年の11月は「伊勢志摩サミット」の控えで、春に來られていた団体、個人のお客様が秋に動かれたため、団体客の受入れ可能な施設は、特に高稼働であった。今年は、一昨年程度の稼働に戻ってしまい、対前年の実績を下回った。また、直近の予約状況も芳しくなく、インバウンドも少し下落しているようで、即効性のある誘客対策が必要である。
		警備	受注量は増大しているが、従業員不足で、仕事を断っている状態である。この状態で来年4月まで続くと思われる。
	建設業	内装工事業	11月分も対前年同月比が減少した。今後、売上は年末まで前年と同じくらい少し下回り、年度末には増加すると見込まれる。
		水道工事業（四日市）	今月は特に大きな変化は見られなかった。人員不足の状況は改善されず、今後も年度末にかけて続くものと思われる。
	運輸業	トラック	輸送需要に若干の減少傾向が見られた。

#### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	HACCPの勉強会を通して、今後、HACCPに取り組める組合員を育てていく。
一般機器	四日市	国会が開かれている。党利党略の前に我が国の経済発展と振興策を討議してほしい。
	伊勢	BCP策定講習会等のご案内をいただきありがとうございました。組合員のニーズが高いようであれば、今後、講習会等を計画したいと考えているので、引き続き支援願います。
小売業	スポーツ	インターハイ事務局が来年の大会の用品を準備しているが、組合員を利用していただくよう一度申し入れをしていただきたい。
サービス業	旅館	多くの組合員施設では、現状、風俗営業の許可が必要となっているが、昨年6月の風営法改正では、クラブやダンスホールでのダンスが風営法の適用除外となった。インバウンドの増加で、ナイトライフの充実なども提起されている現在、時代と乖離した風営法の規制適用を除外したい。日本旅館協会でも11月に決議を採択したところである。